



**浮津** 小学校教育では、話す・聞くが基本です。授業や生活の中で、自分の思いや考えを相手に伝えること、相手の意見を聞く、受け止めることが重要です。幼稚園や小学校の学級も小さな社会であり、言葉を通じて他者と意見を交わしながら、よりよい学級をつくっていきます。幼稚園の時期に遊びや生活の中で話す・聞く機会をたくさん設けていただきたいと思います。そして、話したい、伝えたいことが伝わった、聞いてくれてうれしいなどの体験が、学びにとって必要であると私自身も再認識しました。


**中島** 先日、私が初めて担任として関わり、社会人になった教え子と話をする機会がありました。その人は、幼稚園時代、絵を描いたり物を作ったりするのを楽しんでいたと話を聞きました。その話を聞いて、私も嬉しくなりました。幼稚園の経験が、今の自分にどう影響しているのか、どう活かしているのか、聞いてみたいです。

**中島** 先日、私が初めて担任として関わり、社会人になった教え子と話をする機会がありました。その人は、幼稚園時代、絵を描いたり物を作ったりするのを楽しんでいたと話を聞きました。その話を聞いて、私も嬉しくなりました。幼稚園の経験が、今の自分にどう影響しているのか、どう活かしているのか、聞いてみたいです。

**中島** 教育委員会として一層保育の質を高められるよう、職員に対する研修の実施、小学校教育との接続を見据えた幼児教育の更なる充実、保幼小連携事業の推進、体制の構築など、幼児教育から小学校教育へ子どもの学びをつなげる取組を進めていきます。そして、この度、幼児教育の重要性を広く理解していただくために、幼稚園のリーフレットや紹介動画を作成しました。(QR

**平林** 本日の懇談会を通して、区立幼稚園が大事にしている遊びそのものが、小学校以降の教育の土台である「学びの芽生え」となることをあらためて認識しました。変化が激しい予測困難な社会の中で、たくましく立ち向かう社会の担い手を育てられるよう、これまで区立幼稚園が培ってきた「環境を通して行う教育」一人一人に応じた教育の研究成果を保育所や子ども園などに発信し、区立幼稚園が幼児教育のフラッグ

下記QRコードより  
中央区立幼稚園案内  
(動画・リーフレット)



シブとして「学びの芽生え」を培う幼児教育を牽引してほしいと思います。幼稚園に培った力が小学校以降の教育に引き継がれるよう、保幼小連携の取組を推進し、学びの連続性を確保することがますます重要になっています。本区の子どもたち一人一人の可能性を引き出し、開花させる幼児教育に今後も期待します。



**平林** 幼児は夢中になつて遊ぶことを通して、様々なことを学んでいること、幼稚園時代の学びが小学校以降の学習へ取り組む姿勢や学習の基盤となっていることがよく分かります。遊びという実体験の中で、協力して何かをやり遂げる力、やり抜く粘り強さ、自ら進んで取り組む力などの非認知能力と、言葉で伝えたり聞いて理解したりする力、数・図形などを理解する力などの認知能力、両方が育つていきます。それが「学びの芽生え」ということです。一見、遊んでいるだけに見えますが、幼稚園での教育活動を通して幼児は豊かに育っています。

**中島** 最後に、これからの中央区の幼稚園教育についてお聞きします。

**嶺村** 幼稚園から小学校に進むと、生活の流れそのものが変わります。生活のゆるい段階を感じるのとは当たり前だと思います。その段差を二年生になったんだという喜びに変えて、「えいっ」と乗り越えられようという自己肯定感を育んで送り出したい、と思っています。それが、これからの人生を支える根っこになると信じています。

**浮津** 幼稚園は、小学校のための準備機関ではありません。小学校教育の先取りをするのではなく、幼児期にふさわしい遊びをたくさん経験させることが大事であると思います。幼児期の様々な実体験が小学校以降の学習と結びつき、知識や技能「学び」に向かう力となります。そして、遊びや生活の中で驚き、発見、葛藤など、様々な心が揺さぶられる体験は、小学校生活を豊かに過す原動力となります。

**平林** 幼稚園は、小学校のための準備機関ではありません。小学校教育の先取りをするのではなく、幼児期にふさわしい遊びをたくさん経験させることが大事であると思います。幼児期の様々な実体験が小学校以降の学習と結びつき、知識や技能「学び」に向かう力となります。そして、遊びや生活の中で驚き、発見、葛藤など、様々な心が揺さぶられる体験は、小学校生活を豊かに過す原動力となります。

座談会 特集

# 「学びの芽生え」を育てる幼稚園教育



**遊びの中の学びについて**  
**平林** 平日頃、幼稚園での教育活動を見ておられますと、幼児がよく遊んでいる、という印象を受けます。先生方、一人一人が創意工夫し、幼児が思わず遊びたくなるような遊具や用具が整えられていること、丁寧に声掛けや支援をしていることがよく分かります。幼稚園教育における「遊びの中の学び」について、現場の意見を伺いたいと思います。

**嶺村** 例えば、この写真のような大型積み木を使った基地づくりの場面では、年長児が自分の背丈より大きく、一人では運べない重さの積み木を友達と一緒に持ち上げたり、降ろしたりしています。「そこを持ち上げてここに置いて」といった声かけや、言葉で思いや考えを伝え合いながら、まさに、力を合わせる、協力する、とはどういうことかを体で学んでいます。

**浮津** 先日、年中児の学級で育てていたアゲハ蝶が羽化しました。小学校であれば、授業の中で全員が観察カードに記入しますが、幼稚園では担任は気付きを促しながらも一律に観察を求めるとはせず、驚きやうれしさを会話や絵、製作等、様々な方法で表現できるようにしています。この写真を見てくださいますか。アゲハ蝶を見て気持ちが高まり、作りたい！という気持ちになったからこそ、羽の模様やロール状になっている口の部分まで、幼児は再現していました。

**浮津** 子ども自身が発見したり、気付いたりできるように援助すること、をとても大切にしています。心が動き、何かをやってみたい！と思い、そこから身近な環境に自分から関わって遊ぶ中にこそ、今、その子に必要な学びがあると考えます。そうした経験を積み重ねられるよう、教師は、幼児一人一人への思いや願いを込めて保育室や園庭の環境を整えています。幼稚園教育は、「環境を通して行う教育」と言われるように、例えば、製作コーナーでは、作りたいときにいつでも自分で材料を選ぶことができる環境を用意しています。時期や年齢に応じて、用意する物の種類や数、量を変え、自分で取り出したり片付けたりできるようにしておく、子どもたちは遊びに必要な物を自分で作る中で、セロハンテープの切り方、箱と箱のつなげ方、紙の折り方や丸め方、リボンの結び方など、様々な技能を身に付けていきます。

**中島** それでは、もう一歩踏み込んで、学校教育の始まりが幼稚園教育とされています。学校での学習の基盤となる力をどのように育てているのでしょうか。



**中島** 実際遊びの中で幼児はどのようなことを学んでいるのでしょうか。

**浮津** 先日、年中児の学級で育てていたアゲハ蝶が羽化しました。小学校であれば、授業の中で全員が観察カードに記入しますが、幼稚園では担任は気付きを促しながらも一律に観察を求めるとはせず、驚きやうれしさを会話や絵、製作等、様々な方法で表現できるようにしています。この写真を見てくださいますか。アゲハ蝶を見て気持ちが高まり、作りたい！という気持ちになったからこそ、羽の模様やロール状になっている口の部分まで、幼児は再現していました。

**浮津** ハサミで紙を切る経験ひとつとつても、幼稚園では訓練ではなく遊びの中で経験させています。切りたくなるような教材を準備することで、繰り返してハサミの経験を積み重ねることができ、次第にまっすぐ切る、円を切るなどの技能が自然と身に付きます。だからこそ、さきほどのアゲハ蝶を作った幼児のように、作りたいときに作れるようになり、自分なりの表現ができるようになっていきます。

**中島** それでは、もう一歩踏み込んで、学校教育の始まりが幼稚園教育とされています。学校での学習の基盤となる力をどのように育てているのでしょうか。

**嶺村** 幼児は、頑張つて作った物を友達に知らせたい、お友達さんにお客さんと呼ばせたい、心がか動き相手に伝えたいという思いがあるからこそ、言葉に出して伝えようとして、言葉は言葉や伝え方を取り出して教えるのではなく、まずは幼児の言葉を受け止め、学級全体で話す機会を設けたり、必要な言葉を補ったりしながら、話す姿勢や聞く姿勢に気付かせ、伝えるうれしさに共感しながら、相手に思いを伝えるための伝え方を丁寧に指導しています。



月島第一幼稚園 園長 嶺村法子

教育委員会 主任 平林 治樹 教育長

泰明小学校 校長 浮津 健史

教育委員会 幼児教育担当 専門幹 中島 由美子

